



大谷園林保育園の取り組み Ver. 2



★1歳児編 其の1「砂遊び」★

砂場ではただ楽しいだけではなく、乳幼児のさまざまな発育や発達を促すことができます。今回は、1歳児はす組では、どのようなねらいをもって砂遊びをしているのか紹介したいと思います。

感覚の発達と情緒の安定を促す

砂には様々な姿があります。冷たい砂・温かい砂・サラサラした砂・ドロドロした砂などです。いろいろな砂に触れることで、感覚を鍛え脳が活性化されます。また、砂に触れる心地良さは癒しでもあり、遊びへの集中も誘います。



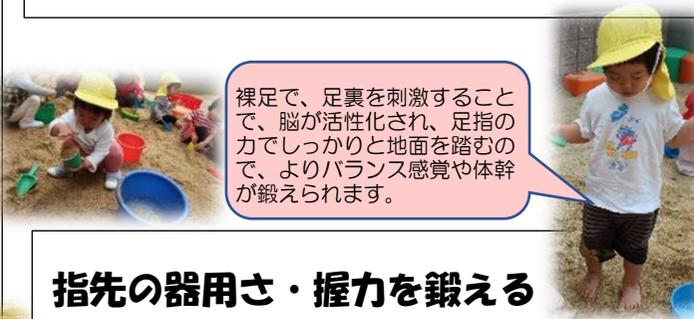
「ベトベト」「ペンペン」気持ちいいね！

サラサラして気持ちいいな！



バランス感覚を養う

砂場に意図的に穴を掘ったり、大きな山を作っておき、より不安定な砂の上を歩く経験することで、しっかり踏ん張り体を支えられるようにしています。よって、自然とバランス感覚や体幹を鍛えます。



裸足で、足裏を刺激することで、脳が活性化され、足指の力でしっかりと地面を踏むので、よりバランス感覚や体幹が鍛えられます。

指先の器用さ・握力を鍛える

保育者が一緒に遊ぶ中で、砂をつかむ・つまむ・かける・力いっぱいにぎる・・・などの動作をすることにより子ども達が模倣します。その積み重ねにより、指先に力を入れたり、指先の器用さや握力の向上に繋がります。



指先にギュッと力を入れて、砂を集めています。

小さなカップにも入れられるよ！

手の平にジャー！

物を操作する能力をつける

【スコップで砂をすくう動作】

スコップで砂をすくってバケツに入れることは、何でもない遊びのように思えます。実際には、スコップをさす角度・砂を持ち上げこぼさない為の手の返し方などの細かい作業と力加減が必要です。保育者が一緒にスコップを握ったり、バケツやカップで砂を受けたりすることで、“デキタ”と感じ“モウイッカイ”と繰り返し試せるようにしています。



砂遊びで、砂の中の雑菌や微生物に触れることで、免疫力が強くなり、食中毒やインフルエンザなどの病気にも強くなるといわれています。

